

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	マイスクール@あさひがおか		
○保護者評価実施期間	2025年1月15日		～ 2025年2月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26名	(回答者数) 23名
○従業者評価実施期間	2025年2月1日		～ 2025年2月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月15日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	施設内でのイベントの充実。 外出先の範囲を拡大し、お子様や保護者様のご意見やニーズに寄り添い、活動内容やイベントを適宜検討し開催している。	お子様の特性を理解し、イベントへの参加が可能かどうかを保護者様にも事前にご意見をいただき、柔軟に対応をしている。 ご家庭では中々連れていくのが難しい場所への外出先も検討し、お子様同士の関わりで楽しさを分かち合えるよう努めている。	調理実習や買い物支援、イベントに出掛ける際には、お子様同士の話し合いを提供していきます。また、グループワークを通して相互のコミュニケーションを強化していく機会を今後も増やしていきながらお子様の成長に寄り添い対応していく。
2	自立活動ではお子様一人ひとりにあった作業を検討し、SSTを盛り込んだ内容を取り入れながら実践しています。手先や感覚、身体の使い方、コミュニケーションスキルの強化に努めている。	作業内容については難易度を設定し、お子様のレベルを考慮し、ハードルを上げ過ぎないように、本人のやる気を引き出すことを目的として行っている。	ご家庭での困り感や本人に挑戦させてみたい内容を保護者様へもヒアリングし、日々の支援内容を申し送りの中で共有し、スタッフ個々のスキルアップを目指していく。
3	利用児や保護者様の個々のニーズに寄り添い、柔軟に対応できる事業所運営を目指している。	事業所として節度ある介入を意識的に行い、ご家族からの要望があればその都度柔軟に対応していくことができるよう、また、ご家族が安心して過ごして貰えるような事業所であり続けていきたい。	お子様が事業所を利用することに対して、ご家族の都合によりキャンセルするということがなくなるよう事業所として実践できるかどうかをまずは気軽に相談してもらえよう、保護者様との関係づくりを行い、意思の疎通を形成する中で保護者様には安心してもらえるよう努めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎範囲の関係で療育時間の縮小が懸念される。	遠方の学校になると送迎に要する時間が長くなるため事業所として提供できる療育内容が制限されてしまう。	療育時間が確保できない場合に関しては保護者様の同意のもと延長支援を実施できるかも含めて今後は調整していく必要がある。
2	ペアレントトレーニングや保護者様も巻き込んだ研修といった機会を今後どのように実践していくかの検討が必要である。	父母の会の活動や保護者会等の開催が殆ど行えていない状況である要因として、保護者様がお忙しくされており、保護者同士の交流を求めておられない傾向もあるため、保護者同士の交流の機会が設けられていないのが現状である。	事業所内でのイベント等で保護者参加型の内容を検討していく。また、日程の設定時期も出来るだけ早い段階でアナウンスしていけるよう努める。
3	土曜日、祝日を希望する利用児が少ない。	土曜日、祝日は家でゆっくりと過ごしたいといった利用児、保護者のニーズが多く、中々利用に繋がらないといった状況に陥っている。	週末のレスパイトとして、保護者様の負担を少しでも軽減できるような柔軟に対応し、週末だけでも利用したいといった新規の利用者の獲得を目指していきたい。